

# 華蔵寺通信

## 檀信徒会会長挨拶



この度、華蔵寺檀信徒会々報創布に際して、会長として一言ご挨拶申し上げます。

挨拶申し上げます。始めに当寺藤井住職が、天台宗の最高位である大僧正の位を補任され、過日比叡山延暦寺にてご夫妻で授与式に出席されました。誠におめでとうございます。檀家を代表して心よりお祝いを申し上げます。

華蔵寺は私達伊勢崎市民にとりまして常に身近な存在でした。隣接する公園は、保育園、幼稚園の子供たちには遠足の場所、大人にとっても楽しめる憩いの場所でありました。桜やつつじの名所として親しまれています。その景色の中には、急勾配のど

平成三十年十二月 第一号

発行責任者

華蔵寺檀信徒会

つしりした大屋根の華蔵寺は、公園とは対照的な思いを抱かせてくれたものでした。

家族の者は数度のお参りだけで「心清々しくなれる」と話す言葉に、私自身無性にうれしさを覚えます。

大伯父、父親、そして今私が華蔵寺の世話人として長きに渡りご縁を頂いておりますが、檀家の皆様にも我が家同様に、心に何か思いを募らせて頂ける華蔵寺で有り続けられるように、少しでもお役に立てればと思います。会報はその役目の一端を担ってくれるものと確信しております。

また、お寺の年中行事は私達が想像する以上に多岐に渡っておりますが、会報を通じてそうした行事により一層のご理解を頂けるようになるのではないかと期待をしております。

## 檀信徒会役員紹介

副会長 富田康弘



副会長 後閑たけ



副会長 板垣有一



会計 尾内本典



会計 村岡幹彦



監査 重田泰嗣



監査 齋藤恵之



監査 阿左美賢一





### 第43回 伝道師補任祖山研修会

鹿島町世話人 細谷 泰治

昨年、菩提寺である華蔵寺の団体参拝に初参加し比叡山を訪れました。その車中で住職より伝道師研修というものがあり、団体参拝と内容は違い修行に近いものだと教えられました。

今年も研修があること知り、昨年の車中での話を住職にしたところ、住職は研修参加を認めて下さり、下植木地区世話人・大木孝之氏と共に今回の研修参加が実現しました。

台風21号の被害で居士林が使用されないとの案内があり、通常の研修と会場が変わることは早くから判っていました。研修と時を同じく台風25号が再び関西地方を直撃することは想定外、その中で会場変更、研修内容の変更等々を的確に対応された三浦宗務所長、綾小路主任には感謝の気

持ちで一杯です。また、居士林の方々にも大変お世話になりました。

研修の内容は一泊二日と短縮され座禅止観・山内巡拝が過ぎず残念でしたが、法話・写経がありました。法話では予定していなかった千日回峰行を成された上原大阿闍梨の法話も追加され中身のある説話を聞くことができました。

開祖最澄上人の教えの中にある一隅を照らす心とは和を大切にされた懐の深い言葉で、比叡山を日本の仏教の本山としているのはこの懐の深さなのだ実感しました。

最後に華蔵寺の藤井大僧正には色々のご配慮頂き本当にありがとうございました。

古刹華蔵寺が末永く壇徒の尊敬を集めるお寺となるよう勤めることが伝道師の役割と認識し精進します。



一隅を照らす運動  
しょうぐうさん

### 大僧正親授記念祝賀会

謹啓 時下、公私共に忙しい中、檀信徒の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は祐仙系法類会の活動に対しまして格別なご高配を賜り、衷心より御礼申し上げます。

私、華蔵寺住職・藤井祐順は、天台座主より拜命を受け、天台宗の最高位である「大僧正」という位を授かることと相成りました。これも偏に檀信徒の皆様の日頃からのお力添えだと実感しております。

この会報紙は、華蔵寺とお檀家様とのコミュニケーションの一つとして発刊することとなりました。この会報をきっかけに、より一層お寺に関心を向けて頂ければ幸いです。

寒さが厳しくなってきましたが、これからも華蔵寺護持の為、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

藤井祐順 九拜

